

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 宮城県大崎市立大貫小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒989-4302

宮城県大崎市田尻大貫字境37-1

E-mail : osaki_oonuki@educ.osaki.miyagi.jp

Website : 無

児童生徒数：男子 56名 女子 65名 合計 121名
 児童・生徒の年齢 7歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容につ

いては、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

【3年生での実践】

「大貫の自然を楽しもう」

① 学校の周りの観察

学校周辺の自然観察，生き物観察を実施した。花の名前や昆虫の名前を自ら調べるなど意欲的に活動していた。

② 「メダカの郷」の見学

学校の近くにビオトープがあり，見学させてもらった。メダカを中心に，アメリカザリガニなどにも触れることができた。また，アサザなどの水生植物も見学するなど，楽しく自然に触れる体験をすることができた。

「蕪栗沼の生き物たちを紹介しよう」

① 蕪栗沼の生き物調べ

学校にある資料やインターネットを活用したり，家族などにインタビューをしたりして生き物の種類や生態等について調べた。

② 渡り鳥の観察

蕪栗沼に出かけ，白鳥やガンなどの渡り鳥の観察会を実施した。「NPOぬまっこクラブ」の協力で，その場で野鳥の名前や鳥のいる場所を教えてもらうなどして，普段何気なく見ている渡り鳥に関心をもつことができた。また，これだけ多くのガンなどは他の所にはいないことを教えてもらい，驚いていた。

【4年生での実践】

「自然の宝を知ろう」

① 出前講座

「NPOぬまっこクラブ」の方たちに出前講座を開いていただいた。蕪栗沼に生息する魚やカエルなど水槽ごと持参していただき，十分に触れ合うことができた。

② 蕪栗沼での生き物調査

蕪栗沼に行き，生き物調査を実施した。「NPOぬまっこクラブ」に協力をもらい，様々な生き物の名前や生態等を教えてもらった。自分で生き物を捕獲する体験をしたので，生き物の名前を調べる活動等に生き生きと取り組むことができた。

③ 蕪栗沼探検発表会

蕪栗沼に行って調べてきた生物についてグループごとにまとめ，学習参観日に発表会を実施した。保護者にも活動内容や蕪栗沼の生物について知ってもらいよい機会となった。

【5年生での実践】

「米作りを体験しよう」

① 種まき

ポットに3粒ずつ種まきをする。

② 人間代かき

土が軟らかくなっている「ふゆみず田んぼ」に裸足で入り、土をかき回す「人間代かき」を行った。子どもたちは、土の感覚を十分に味わった。

③ 生き物調査

人間代かきと同時に生き物調査を行った。田んぼの中にいる生き物を観察した。

④ 田植え

自分たちでポットに種まきした苗を手で植えた。最初はうまく植えられなかった子どもたちも、コツをつかみ、自分の苗を植え終わることができた。

⑤ 除草

田植えの1週間後、竹箒を使った除草をした。竹箒をつけた板を引っ張ることで、稲と草が倒されるが、稲は時間がたつと起き上がり丈夫に育つという工夫に気付きながら除草の体験をすることができた。

⑥ 植物・生き物調査

田んぼの生き物や植物調査を除草と同時に実施した。マコモの根など食べられる植物を食してみる活動も実施した。

⑦ 生き物調査

稲が育った田んぼでの生き物調査を実施した。無農薬で育てている稲なので、いろいろな生き物がいて、生態系の豊かさを感じることができた。

⑧ 稲刈り

鎌で手刈りを体験した。初めての子どもたちがほとんどで、地域の方や保護者・祖父母に教えてもらい上手に束ねることもできた。稲は、棒がけで自然乾燥である。

⑨ 脱穀

足踏み式の脱穀機を使って、脱穀の体験をした。この体験から子どもたちは昔の人の苦労を感じていた。

⑩ 収穫祭

学年PTAの行事として、米作りでお世話になった方を招待し会食会を実施した。その際、保護者も一緒に釜を使って収穫した米でご飯を炊き、おにぎりや豚汁を作った。また、「NPO田んぼ」の岩淵さんから「アジアの国々の米作り」について話をしていただき、保護者と一緒に学習した。

⑪ 米作り発表会と米の寄付

2学期末の学習参観で、米作りの1年を振り返り、個人でプレゼンテーションを作成し発表した。また、収穫した米を地元の社会福祉協議会に寄付し、役立ててもらうことにした。

【6年生での実践】

「自然環境を見つめよう」

① 蕪栗沼・渡り鳥など地域の環境についての個人研究

5年生までの学習や生活の中から興味をもったことをテーマに個人研究を進めた。まとめた成果は、ポスターセッションで発表した。

② おおさき子どもサミットでの発表

学校の紹介、地域の紹介、大崎市の未来についての意見交換があった。その中で、今の自然豊かな大貫を残したいという意見を発表し、地域の良さを再認識していた。

③ 蕪栗沼クリーン作戦に参加

大崎市田尻商工会主催の「蕪栗沼クリーン作戦」に5・6年生が参加し、蕪栗沼周辺のごみ拾いを実施した。子どもたちは、大量のごみに驚いていた。その後、ごみを少しでも減らしたいという意見が出て、全員で話し合った結果、看板を立てて呼び掛けようということになった。看板作成後、大崎市とラムサール条約の関係で環境省の許可を取り、看板設置を行った。

④ 国際交流の実施

7月に、タイのジラサート校とチュラポーン高校の児童生徒と、学校の様子や米作りのことについてテレビ会議を通して交流した。外国の友達に、日本や地域、学校のことを知ってもらうために、どのようなことを伝えればいいのか相談し、交流内容を決定した。また、事前にタイ米と日本米を交換し、ご飯にして食べてみて米の違いを感じていた。交流後は、タイの気温がとても高いこと、米が3回も収穫できることに驚いていた。また、それぞれの国のご飯もおいしいという感想を発表していた。

11月には、タイの2つの学校の先生が来校し、全校で交流した。その際、学校の様子を紹介した。

⑤ ガンの飛び立ちを見る会

ラムサール条約登録地である蕪栗沼には、一万羽以上のガンがねぐら入りし、朝日とともに飛び立つ。その様子を保護者と一緒に観察した。ガンが飛んでいる様子は普段から見ているものの、朝の飛び立ちの様子は早朝であり、なかなか体験できない。そのため、子どもたちからは一斉に歓声上がる見学会となった。

⑥ 環境を守るための提言

4年間の総合的な学習の時間での環境学習の総まとめとして、個人ごとに環境を守るための提言としてまとめ、環境教育室に展示した。全校

